

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月13日

【四半期会計期間】 第14期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 パシフィックシステム株式会社

【英訳名】 PACIFIC SYSTEMS CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 久保 永史

【本店の所在の場所】 埼玉県さいたま市桜区田島八丁目4番19号

【電話番号】 048(845)2200(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員総合企画部長 小林 和重

【最寄りの連絡場所】 埼玉県さいたま市桜区田島八丁目4番19号

【電話番号】 048(845)2200(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員総合企画部長 小林 和重

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第13期 第2四半期 連結累計期間	第14期 第2四半期 連結累計期間	第13期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	3,815,014	3,710,466	8,469,406
経常利益又は経常損失()	(千円)	93,891	88,513	473,661
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失()	(千円)	56,029	59,380	281,492
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	62,376	58,846	309,700
純資産額	(千円)	2,815,593	2,915,282	3,062,917
総資産額	(千円)	5,798,829	5,786,800	6,308,326
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額()	(円)	37.86	40.13	190.22
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	48.6	50.04	48.6
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	516,947	250,097	906,834
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	134,435	60,318	238,434
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	363,035	230,553	488,817
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	427,120	546,451	587,226

回次		第13期 第2四半期 連結会計期間	第14期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	44.29	42.19

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第13期第2四半期連結累計期間及び第13期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第14期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策効果により緩やかに回復しつつありました。一方、世界経済は、アメリカの政策動向による影響、アジア経済の先行きや欧州債務問題等懸念材料を抱えるなかで弱い回復となりました。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、ソフトウェア投資がおおむね横ばいで推移するなど、引き続き情報化投資に対する慎重な姿勢が続きました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、システム販売の減収等により3,710,466千円（前年同期比2.7%減）、また、利益につきましては、売上高の減少及びソフトウェア開発において大幅な原価上昇があったため、営業損失85,810千円（前年同期比173,784千円減）、経常損失88,513千円（同182,405千円減）、四半期純損失59,380千円（同115,409千円減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

機器等販売

売上高はパッケージソフトウェアの減少により784,215千円（前年同期比0.5%減）となりました。セグメント利益は利益率低下のため36,485千円(同51.4%減)となりました。

ソフトウェア開発

売上高は大型プロジェクトが進行中であるため525,004千円（前年同期比3.0%減）となりました。セグメント利益は進行中プロジェクトの原価が大幅に上昇し不採算化したこと及びアフターコストの発生により53,403千円の損失(同77,290千円減)となりました。

システム販売

売上高は画像処理システムに下期へのずれ込み等が発生したこと並びに前期に大型案件があり、その反動等により1,020,631千円（前年同期比12.0%減）となりました。セグメント利益は減収に伴い93,970千円(同16.6%減)となりました。

システム運用・管理等

売上高は運用業務の増加により1,380,615千円（前年同期比4.2%増）となりました。セグメント利益は一部運用保守における原価上昇により316,687千円(同1.0%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.6%減少し、3,370,365千円となりました。これは、主に仕掛品が362,807千円増加したものの、受取手形及び売掛金が864,681千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、2,416,434千円となりました。これは、主に建物及び構築物が29,200千円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて8.3%減少し、5,786,800千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7.6%減少し、2,255,405千円となりました。これは、主に受注損失引当金が120,882千円増加したものの、買掛金が172,699千円、未払法人税等が150,139千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて23.4%減少し、616,112千円となりました。これは、主に固定負債その他に含まれる長期未払金が105,424千円、長期借入金が50,010千円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて11.5%減少し、2,871,518千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.8%減少し、2,915,282千円となりました。これは、株主配当金の支払が88,788千円あり、四半期純損失が59,380千円であったことによります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ40,774千円減少し、546,451千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、250,097千円(前年同四半期は516,947千円の増加)となりました。これは、主に支出でたな卸資産の増加額358,421千円、法人税等の支払額196,695千円があったものの、収入で売上債権の減少額864,681千円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、60,318千円(前年同四半期は134,435千円の減少)となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出40,600千円、有形固定資産の取得による支出18,669千円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、230,553千円(前年同四半期は363,035千円の減少)となりました。これは、配当金の支払額88,788千円、リース債務の返済による支出83,420千円、長期借入金の返済による支出58,345千円があったことによります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は18,532千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	5,920,000
計	5,920,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,480,000	1,480,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は 100株であります。
計	1,480,000	1,480,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		1,480		777,875		235,872

(6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	平成25年9月30日現在	
		所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
太平洋セメント株式会社	東京都港区台場2-3-5	1,017	68.71
パシフィックシステム社員持株会	埼玉県さいたま市桜区田島8-4-19	121.9	8.23
A G S 株式会社	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25	30	2.02
株式会社武蔵野銀行	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-8	30	2.02
増古 恒夫	埼玉県さいたま市浦和区	20.5	1.38
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町1-13-1	20	1.35
興銀リース株式会社	東京都港区虎ノ門1丁目2-6	10	0.67
田口 操	埼玉県秩父市	8.6	0.58
小南 毅	埼玉県熊谷市	8.4	0.56
黒澤 悦三郎	埼玉県上尾市	8.3	0.56
計		1,274.7	86.12

(注) 太平洋セメント株式会社は、当社の親会社であります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,479,700	14,797	
単元未満株式	普通株式 200		
発行済株式総数	1,480,000		
総株主の議決権		14,797	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式92株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) パシフィックシステム(株)	埼玉県さいたま市桜区 田島八丁目4番19号	100		100	0.01
計		100		100	0.01

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	587,226	546,451
受取手形及び売掛金	1,860,031	995,350
リース投資資産	443,169	436,557
商品及び製品	76,732	69,012
仕掛品	527,302	890,110
原材料及び貯蔵品	24,378	27,712
その他	340,167	405,464
貸倒引当金	642	292
流動資産合計	3,858,366	3,370,365
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	843,207	814,007
土地	553,902	553,902
その他(純額)	406,353	392,093
有形固定資産合計	1,803,464	1,760,004
無形固定資産	192,097	200,565
投資その他の資産		
前払年金費用	212,478	212,843
その他	245,645	249,194
貸倒引当金	3,726	6,174
投資その他の資産合計	454,397	455,864
固定資産合計	2,449,959	2,416,434
資産合計	6,308,326	5,786,800
負債の部		
流動負債		
買掛金	695,245	522,545
1年内返済予定の長期借入金	108,355	100,020
未払費用	227,048	210,388
未払法人税等	184,772	34,633
賞与引当金	295,215	271,013
受注損失引当金	133,023	253,905
アフターコスト引当金	32,937	42,790
その他	764,823	820,108
流動負債合計	2,441,420	2,255,405
固定負債		
長期借入金	198,273	148,263
その他	605,714	467,849
固定負債合計	803,987	616,112
負債合計	3,245,408	2,871,518

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	2,013,355	1,865,186
自己株式	271	271
株主資本合計	3,030,905	2,882,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,011	32,545
その他の包括利益累計額合計	32,011	32,545
純資産合計	3,062,917	2,915,282
負債純資産合計	6,308,326	5,786,800

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,815,014	3,710,466
売上原価	3,031,152	3,057,127
売上総利益	783,862	653,339
販売費及び一般管理費	¹ 695,887	¹ 739,149
営業利益又は営業損失()	87,974	85,810
営業外収益		
受取利息	89	71
受取配当金	2,335	1,945
受取手数料	1,567	1,079
助成金収入	7,748	1,566
補助金収入	-	2,158
その他	2,769	1,571
営業外収益合計	14,511	8,392
営業外費用		
支払利息	5,339	3,466
売上割引	1,496	1,730
シンジケートローン手数料	1,484	4,719
その他	273	1,179
営業外費用合計	8,593	11,095
経常利益又は経常損失()	93,891	88,513
特別利益		
投資有価証券売却益	14	-
特別利益合計	14	-
特別損失		
固定資産除却損	255	19
投資有価証券評価損	1,414	-
特別損失合計	1,669	19
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	92,236	88,532
法人税等	36,207	29,152
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	56,029	59,380
四半期純利益又は四半期純損失()	56,029	59,380

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	56,029	59,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,347	533
その他の包括利益合計	6,347	533
四半期包括利益	62,376	58,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,376	58,846
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	92,236	88,532
減価償却費	150,506	154,235
賞与引当金の増減額(は減少)	46,181	24,201
受注損失引当金の増減額(は減少)	78,318	120,882
アフターコスト引当金の増減額(は減少)	3,256	9,852
退職給付引当金の増減額(は減少)	9,938	-
前払年金費用の増減額(は増加)	5,305	365
貸倒引当金の増減額(は減少)	120	2,098
受取利息及び受取配当金	2,425	2,016
支払利息	5,339	3,466
固定資産除却損	255	19
投資有価証券評価損益(は益)	1,414	-
投資有価証券売却損益(は益)	14	-
売上債権の増減額(は増加)	601,007	864,681
たな卸資産の増減額(は増加)	239,647	358,421
リース投資資産の増減額(は増加)	16,737	6,612
その他の資産の増減額(は増加)	21,943	3,845
仕入債務の増減額(は減少)	218,600	177,230
未払消費税等の増減額(は減少)	7,838	60,061
未収消費税等の増減額(は増加)	8,227	-
その他の負債の増減額(は減少)	66,623	8,879
小計	577,874	445,982
利息及び配当金の受取額	2,425	2,016
利息の支払額	5,323	3,722
法人税等の支払額	63,448	196,695
法人税等の還付額	5,419	2,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	516,947	250,097
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	69,626	18,669
無形固定資産の取得による支出	59,901	40,600
投資有価証券の取得による支出	93	1,000
投資有価証券の売却による収入	28	-
敷金及び保証金の差入による支出	5,936	392
敷金及び保証金の回収による収入	1,632	584
その他	537	239
投資活動によるキャッシュ・フロー	134,435	60,318

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	150,000	-
長期借入金の返済による支出	50,010	58,345
リース債務の返済による支出	89,035	83,420
配当金の支払額	73,990	88,788
財務活動によるキャッシュ・フロー	363,035	230,553
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	19,476	40,774
現金及び現金同等物の期首残高	407,644	587,226
現金及び現金同等物の四半期末残高	427,120	546,451

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年9月30日)
1. 税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年9月30日)
給与手当	291,576千円	306,558千円
福利厚生費	75,784千円	75,899千円
賞与引当金繰入額	65,672千円	62,684千円
退職給付費用	8,969千円	9,494千円
減価償却費	14,345千円	16,973千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年9月30日)
現金及び預金	427,120千円	546,451千円
現金及び現金同等物	427,120千円	546,451千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	73,990	50	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	88,788	60	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	機器等販売	ソフトウェ ア開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	788,494	541,330	1,159,761	1,325,428	3,815,014		3,815,014
セグメント間の内部売上高 又は振替高		7,388	2,598	20,597	30,584	30,584	
計	788,494	548,719	1,162,359	1,346,025	3,845,598	30,584	3,815,014
セグメント利益	75,055	23,886	112,636	320,006	531,583	443,609	87,974

(注)1 セグメント利益の調整額 443,609千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	機器等販売	ソフトウェ ア開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	784,215	525,004	1,020,631	1,380,615	3,710,466		3,710,466
セグメント間の内部売上高 又は振替高		20,695	118	19,243	40,057	40,057	
計	784,215	545,700	1,020,749	1,399,858	3,750,523	40,057	3,710,466
セグメント利益又は損失()	36,485	53,403	93,970	316,687	393,740	479,550	85,810

(注)1 セグメント利益又は損失()の調整額 479,550千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当社グループはデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()	37円86銭	40円13銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	56,029	59,380
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	56,029	59,380
普通株式の期中平均株式数(株)	1,479,808	1,479,808

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

パシフィックシステム株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 一 宏 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 齊 藤 直 人 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているパシフィックシステム株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、パシフィックシステム株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。